

はらかんが いせきぐん 国史跡記念『幡羅官衙遺跡群』特別展

発掘現場から
文化力
POWER OF CULTURE

場所：熊谷市立江南文化財センター展示室
期間：平成30年7月23日(月)～12月28日(金)

はらかんが いせきぐん 幡羅官衙遺跡群について

幡羅官衙遺跡群は、熊谷市西別府と深谷市東方にまたがる「幡羅官衙遺跡」・「西別府遺跡」、「西別府祭祀遺跡」、「西別府廃寺」の4遺跡から構成されます。

本遺跡群は、古代幡羅郡の郡役所及びその関連遺跡です。

「幡羅官衙遺跡」・「西別府遺跡」は幡羅郡家(郡役所跡)、「西別府祭祀遺跡」は郡家に付属する湧泉祭祀場跡、「西別府廃寺」は郡役所に付属する寺院跡です。これら3つの要素が有機的に機能していた郡役所は、全国的にみても数例しかなく貴重です。

今回の国史跡に指定されたのは、「幡羅官衙遺跡」及び「西別府祭祀遺跡」の2遺跡で、これらは郡家の全体像が把握できるとともに、付属する祭祀場も含め、その成立から廃絶に至るまでの過程が確認でき、また、地方役所の構造や立地を知る上で、大変重要な遺跡です。

現在、遺跡群のほとんどが農地として利用されており、当時の景観を非常に良く残していることから、幡羅郡家の実態に迫ることができる情報量が豊富に残されている遺跡であると考えられます。

国史跡 西別府祭祀遺跡 2018年2月13日指定

湯殿神社が所在する台地の縁辺部を中心に位置し、7世紀後半から11世紀前半まで連綿と行われた水辺(湧泉)の祭祀場跡で、湯殿神社裏のかつて湧泉のあった河川跡から、石製模造品・土師器・須恵器などの土器のほか土錘が多数出土しています。

祭祀は、7世紀後半の石製模造品を主に用いた祭祀が、7世紀末～8世紀初頭には郡家が整備されたことにより郡家に所属する公の祭祀へと変遷し、9世紀後半には願文や吉祥文字を墨書した土器などを用いた祭祀へと変化していったことが考えられます。これらは、豊かな水の恵み、郡家の政治や郡家の人々の安寧を願って行われたものと推定されます。

にしべつ 西別府廃寺

熊谷市域に所在する8世紀初頭から9世紀後半まで存在した寺院で、幡羅郡家に付属する寺院であったと考えられています。

平成2年度から平成28年度までの3次におよぶ発掘調査により、多量の瓦、瓦塔、土師器、須恵器、鉄釘等が出土しています。

寺域は、東西150m、南北200m程の規模と推定され、幅5m程の区画溝で区切られていたと考えられます。伽藍配置については、部分的な発掘調査のため詳細は不明ですが、伽藍想定域を区画する溝内に、基壇建物跡が1棟確認され、その西(30m程)には並列していた建物の存在(版築地業跡)も推定されています。また、寺域内には日常維持管理や、鉄釘等の寺の建築金具を製造した鍛冶工房と推定される竪穴建物跡4棟のほか、葺き替えた瓦や土器などを廃棄した瓦溜り状遺構などが検出されています。

にしべつ 西別府遺跡

深谷市幡羅官衙遺跡から続く遺跡で、9世紀前半から10世紀後半までの大小の掘立柱建物を擁した二重溝で区画された官衙ブロックが確認されています。

平成15年度から平成22年度までの4次におよぶ調査により、土師器・須恵器・ロクロ土師器、当時の高級食器である緑釉陶器や灰釉陶器などの土器のほか、隣接する西別府廃寺に使われた軒丸瓦・軒平瓦などが出土しています。

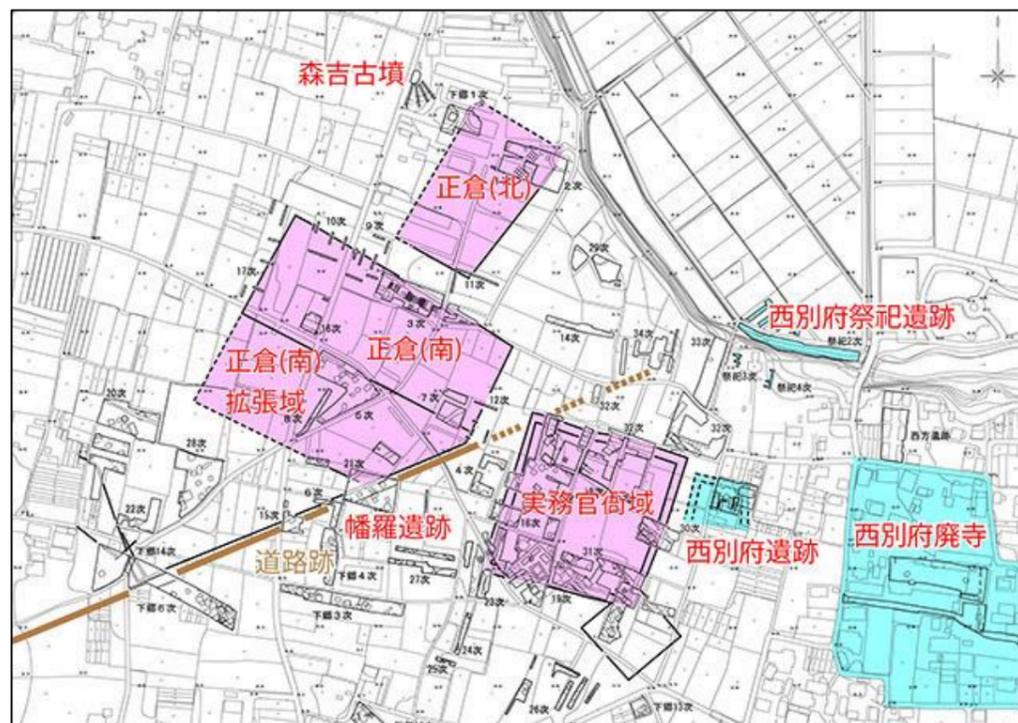
なお、本遺跡範囲内には、幡羅郡家の郡庁が存在する可能性が高いと推測されています。

くにし 国史跡 幡羅官衙遺跡 2018年2月13日指定

熊谷市に隣接する深谷市域に所在し、35次におよぶ発掘調査により、東西500m、南北400m程の範囲に広がる、7世紀後半から11世紀前半まで機能していた、古代幡羅郡家跡であることが確認されています。

郡庁を除く、正倉、館、厨家のほか行政実務を行う曹司の建物群や区画施設、鍛冶工房、道路など郡家を構成する諸施設が確認されています。

また、館と考えられる建物群の北側には、多量の土器、焼土や炭化物の他、獣骨・鳥骨・魚骨・貝殻が出土した廃棄土坑が確認されていて、これらは、館において行われた饗宴に用いられた食材の残滓とも考えられています。



幡羅官衙遺跡群全体図

平成30年7月23日発行
編集・発行：熊谷市立江南文化財センター
熊谷市教育委員会 社会教育課文化財保護係

はらかんがいせきぐん
国指定史跡『幡羅官衙遺跡群』簡易ガイドマップ



幡羅官衙遺跡群説明版



東から祭祀場を望む (左手奥湯殿神社)

出土遺物 (左、中央: 石製模造品) (右: 木簡)

- ➡ 散策ルート
- ⋯ 別府沼公園
- 遺跡範囲



発掘調査 (遺物検出状況: 軒丸瓦、軒平瓦等)



出土遺物 (左2点: 軒丸瓦、右2点: 瓦塔)



実務官衙域の倉庫跡

獣骨、魚介類、鳥骨

建て替えによる柱痕



発掘調査箇所 (上空から)

籠原駅